

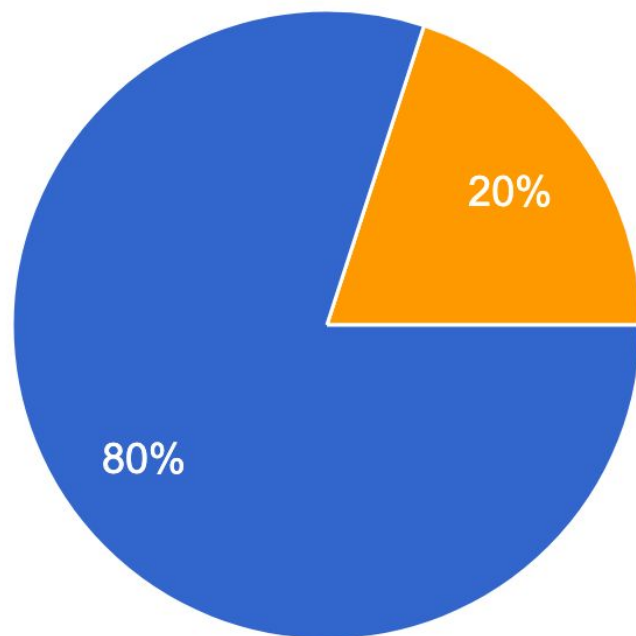
第13回 日本植物学会
ダイバーシティ推進セミナー

**「SNSの光と影～植物科学研究
における活用を考える～」**

2022年9月18日(日)実施

1. 本セミナーへの参加形式を教えてください。

45件の回答

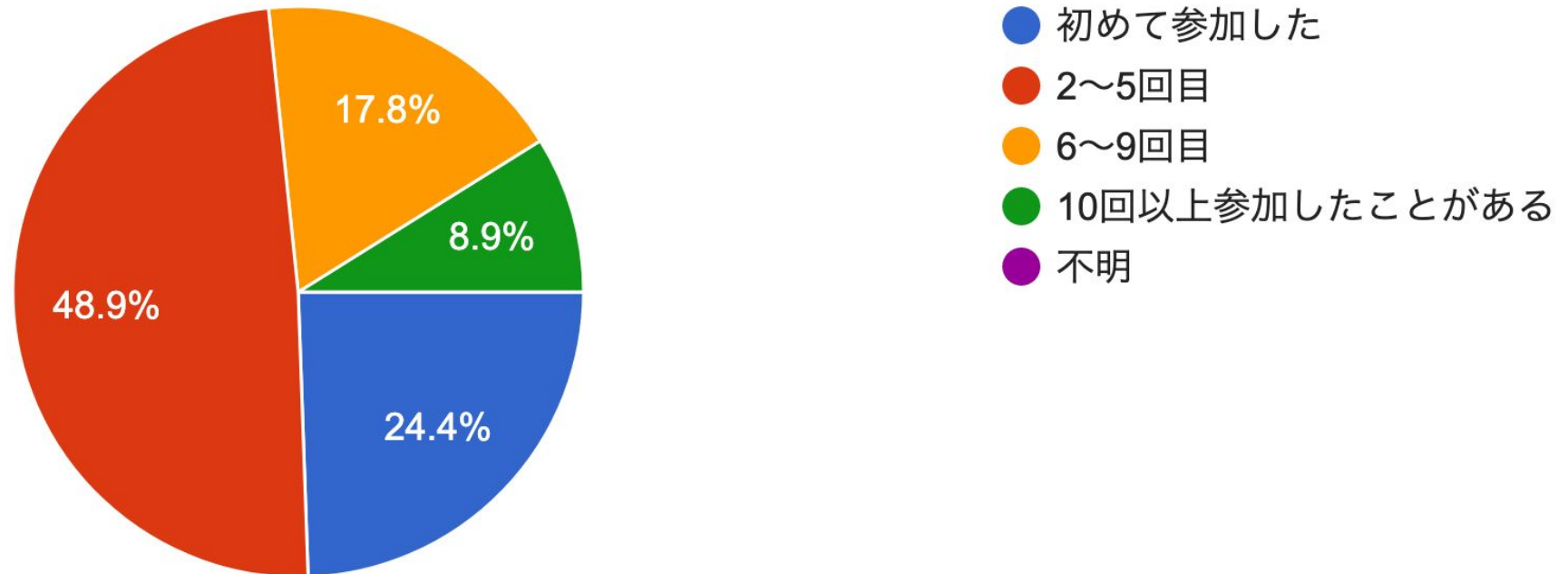


- 現地会場
- 中継会場
- オンライン

2.

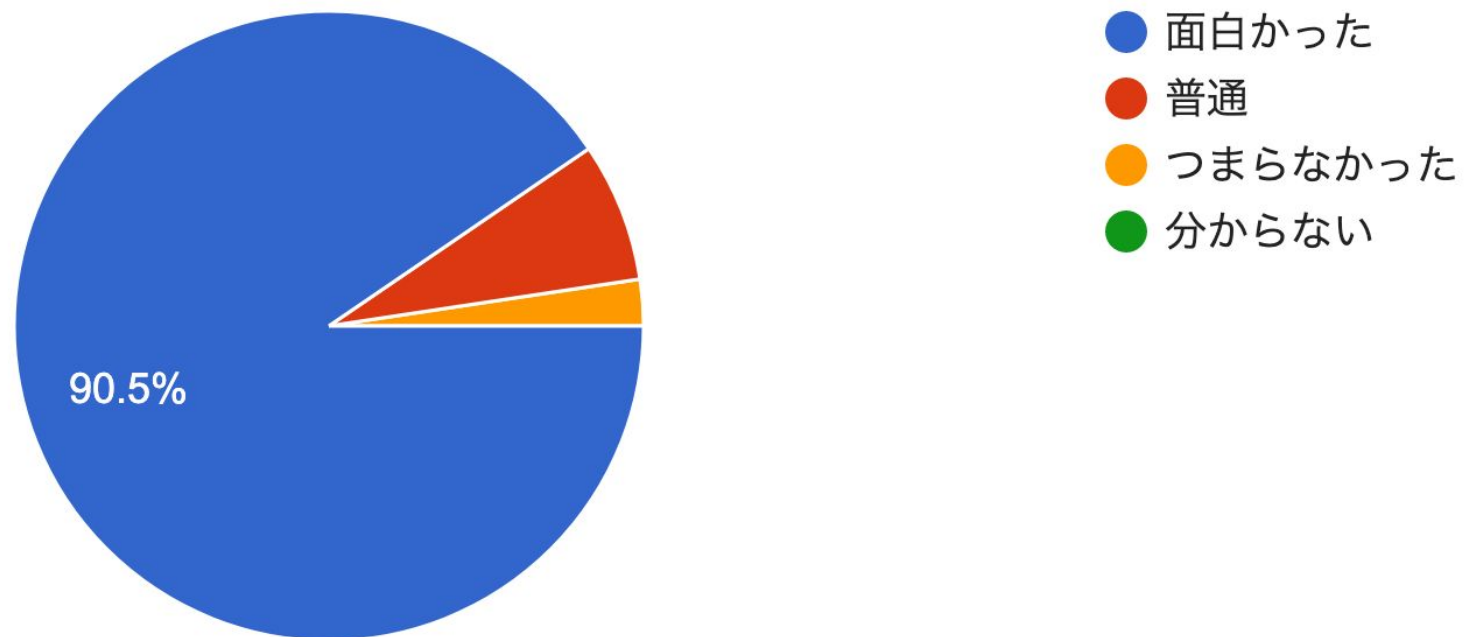
(日本植物学会を問わず) 男女共同参画やダイバ...ウムなどにこれまで参加したことはありますか？

45 件の回答



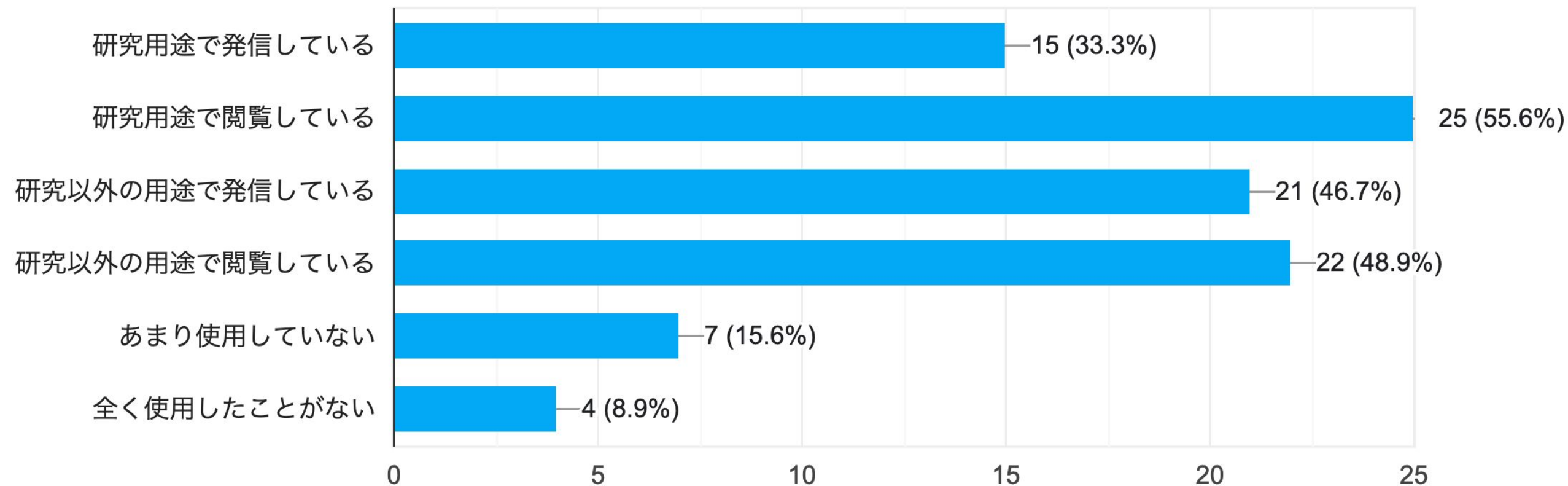
3. 本日のランチオンセミナーはいかがでしたか？

42 件の回答

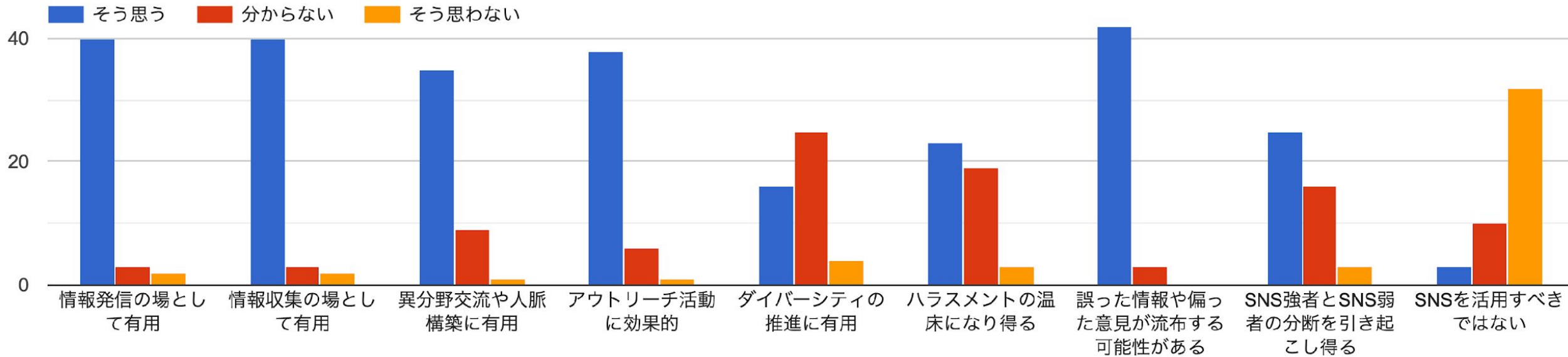


4. 現在, SNSを利用 (発信・閲覧) していますか? (複数回答可)

45 件の回答



5. 研究におけるSNSの活用についてどのようにお考えですか。当てはまるものを選択してください。



6. 植物学会に対して、SNSを利用したどのような活動を期待しますか？（18件の回答）

- 注目論文の発信
- ツイッターで十分だと思います
- 研究者の紹介など
- 若い世代の学会活動参加の活発化
- 研究成果の発信
- アウトリーチ
- アマチュアの研究者、一般市民、学部学生、高校生などへの情報発信
- 稲田さんの現在の運営ポリシーに納得しており、現状のまま続けてほしい。
- 植物学会の学会誌で出版された論文の共有
- 現状素晴らしい。さらにビジビリティーが増すとよい。
- 論文紹介や研究者の紹介など
- SNSに詳しくない方へも、うまく発信（説明）できるような工夫もお願いしたいです。
- 論文紹介、研究紹介
- 情報発信
- JPRの論文の紹介、学会ニュースの配信
- 会員の研究活動等で良い業績が出た場合に報告する。
- 植物学会主催や共催イベントの告知など
- 植物科学に関する情報発信

7. その他、研究者とSNSの付き合い方について、ご意見がありましたらご記入ください。(9件の回答)

- 安易にsnsへ発表を発信すると、精査されていない批判に晒される可能性があるので、学術的に利益のある内容は避けるべきだと思います。
- 対面とメールに限った方がよい。
- ツイッターが中心でしたが、FBとかも議論は必要でしょう。
- とても時間がない。。
- 人類全体において、それぞれの分野の研究者というのはそれぞれの分野におけるデマに拮抗できる唯一の存在だと思うので、積極的に発信や監視を心がけていくのが理想だと思います
- SNSをしない人でも不利にならない環境だといいなと思いました。私自身ストーカー被害で悩まされた時期があったので、実名を出したSNS活動にはまだ不安があります。
- 荒らす人は何を見ているかがわからないから、それに対して細心の注意を払えるようにしておく必要がある。
- やるなら実名で責任の所在を明らかにしてやるのが望ましい。
- SNSを利用してサンプルを集めたり植物の情報を得たりしている例を見聞きし、気を使うことも色々ありそうですが、画期的な研究の進め方だと思っています。

8. 今後のダイバーシティ推進ランチョンセミナーで扱ってほしいテーマをご記入ください。(9件の回答)

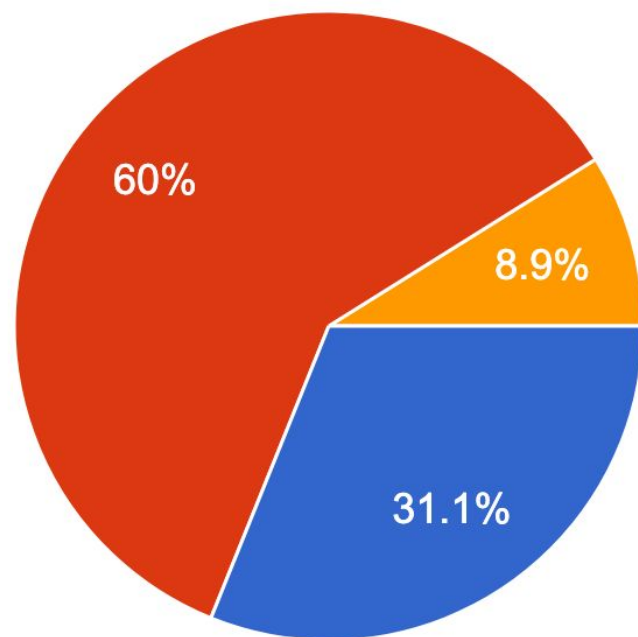
- 植物が社会にもたらす有用性
- セクシャルハラスメント、アカデミックハラスメントの実例を含めて対策を考える
- オンライン併用(オンラインオンリー?)大会はダイバシティ促進にプランか?
- アカハラ対策、マンスプレイング、
- サイエンスコミュニケーションについて
- やっぱりハラスメント問題(女性に限らなくてよい)を幅広く扱っていただきたいと思いました。
- 留学生や外国人スタッフの生活サポート
- 先端のダイバーシティ推進セミナーとなるように、国内外の学会や企業のセミナー内容をよく研究する.
- 若手(学生)とシニアの意識(情報リテラシーとかジェンダーに対する意識とか、研究支援の偏りとか)のギャップ

9.本日のセミナーのご感想を自由にお書きください。(14件の回答)

- 最初の講演は総花的でありあまり伝わるものがありませんでした。実際にSNSのトラブルに巻き込まれた話が聞きたかったと思います。
- 今回のような切り口はダイバーシティ推進自体の多様性拡大からの面からもよかったと思います。
- SNSまた始めようかと思いました
- 全体を通して賛同でき、面白いセミナーでした。可能であれば研究者間に加えて、一般と研究者間のコミュニケーションもトピックとして入れて頂きたかったです。
- 音声聞き取りづらかった
- 大変興味深い内容を企画いただきましてありがとうございました！
- 非常に面白かったです。印象に残ったのは、SNSによってそれまであった分断が可視化されるのではという話と、SNS強者と弱者についての話です。また、オンラインハラスメントも絶対に許したくないなという感想を抱きました。
- SNSをあまり使っていない人にとっては、よく意味のわからないこともありましたが、知らない世界のことを少し知れて、やってみようかな(少しは閲覧してみようかな)という気になりました。
- いろいろな立場の方からお話が聞けてよかったです。TwitterだけでなくインスタやYou Tubeなど、それぞれのSNSごとの話も聞きたかったなと思いました。
- とても良い企画でした。もっと長く聞きたかったです！
- 非常に面白く、内容も新しく勉強になった。
- 元々存在していた分断が、SNSの登場でより見えやすくなったという事には全く同意いたします。また、初期では問題が促進される方向にあったと思われませんが、リテラシーが普及されつつある今なら、より多くの人々で問題を認識して解決するきっかけとし易くなったと思いました。
- 大変興味深いセミナーでした！
- とても興味深い視点の企画で、参考になりました。進行もスムーズでわかりやすかったです。

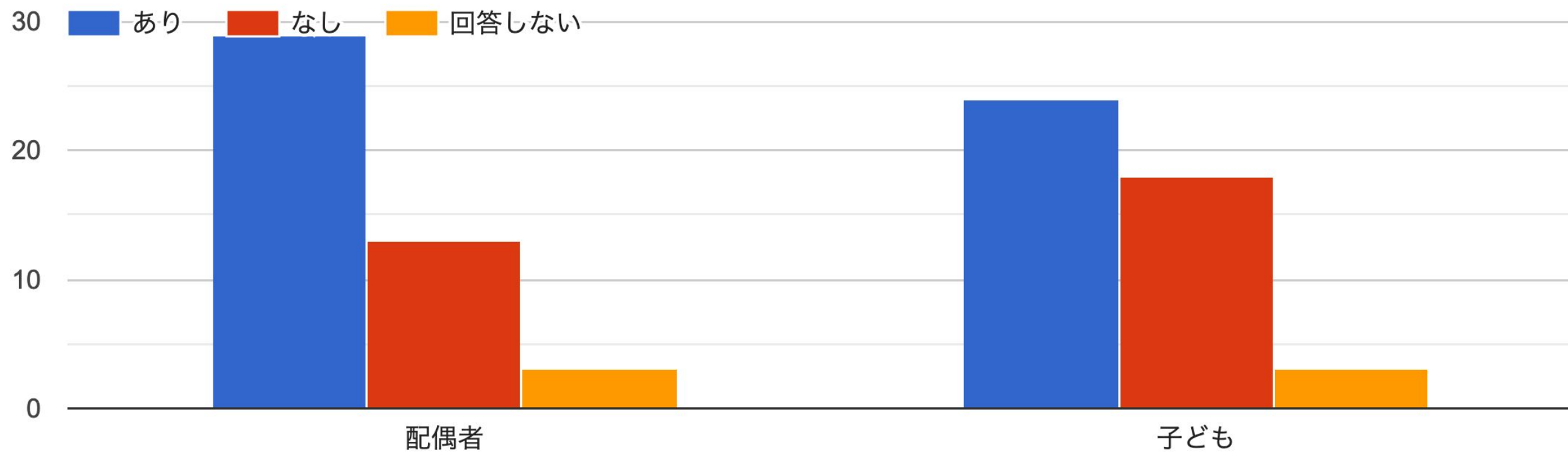
10.性別をご記入ください。

45件の回答



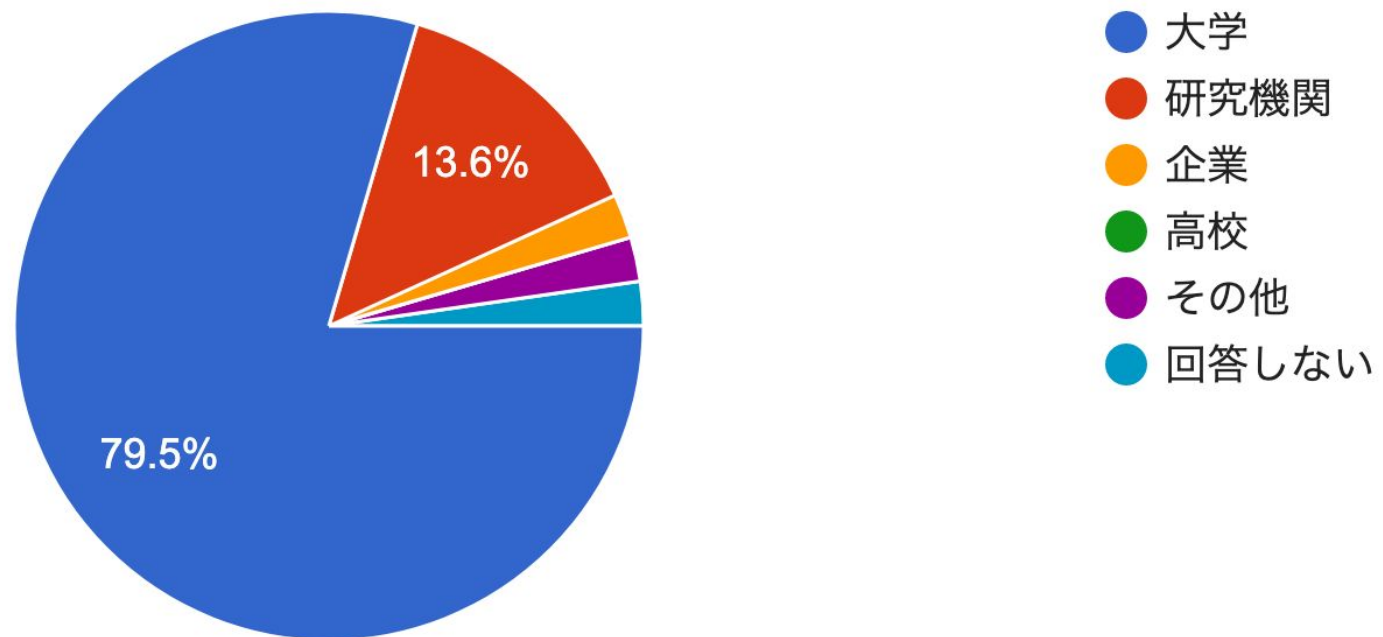
- 女性
- 男性
- 回答しない

11.配偶者と子どもの有無を教えてください。



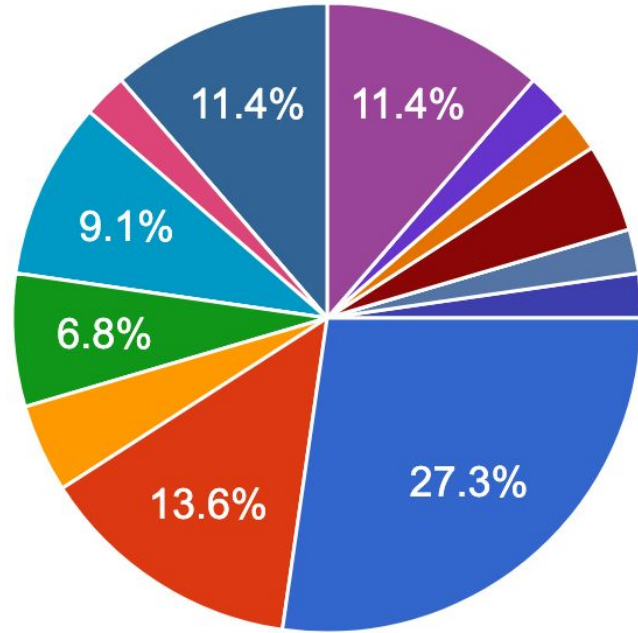
12.所属を教えてください。

44 件の回答



13.職階級を教えてください。

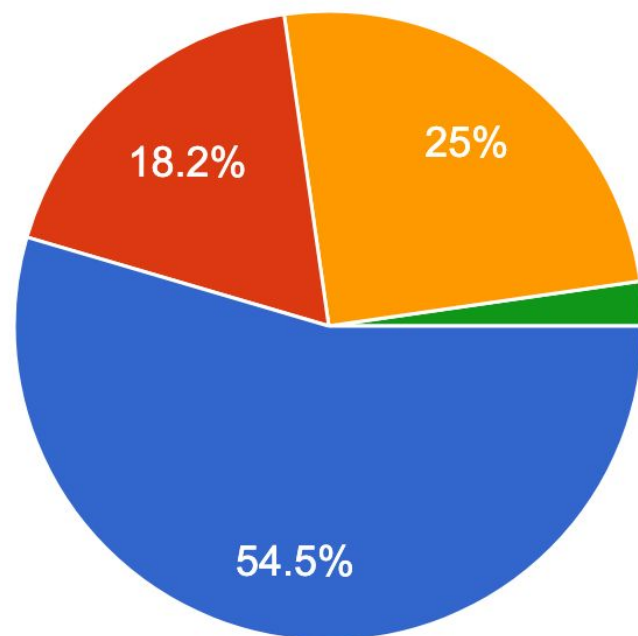
44 件の回答



- 教授
- 准教授
- 講師
- 助教
- 助手
- ポスドク・研究員
- 技師
- 研究補助員
- URA
- 大学院生 (博士課程)
- 大学院生 (修士課程)
- 学部生
- 研究生
- 主任研究員・グループリーダー
- ユニット長・チームリーダー
- 役員クラス
- 部長クラス
- その他会社員 (課長・主任・一般社員など)
- その他
- 回答しない

14.雇用形態を教えてください。

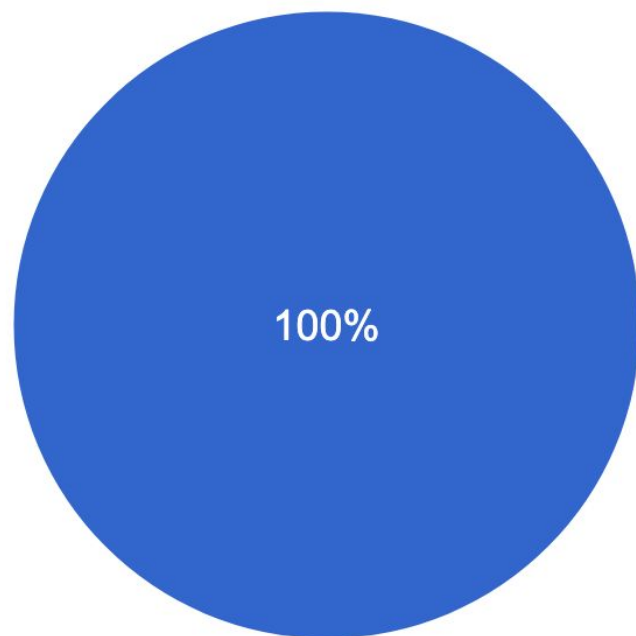
44 件の回答



- 任期なし
- 任期あり
- 該当しない (学生など)
- 回答しない

15.国籍を教えてください。

44 件の回答



- 日本
- 日本以外
- 回答しない